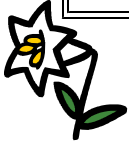


今、学校では

H23. 7. 16
江津中第 4 号



一学期の終わりにあたり

校長 濱岡 繁人

文月も中旬を過ぎ、猛暑の中、一学期の終わりを迎えようとしています。

毎日、うだるような暑さの中ではありますが、学校中から元気な声が聞こえてきます。そして、グラウンドでは、汗びっしょりになり走り廻り、開放感あふれる図書スペースでは、読書愛好家が読書に親しみ、そのかたわらでみんなが語り、学校全体が活気に打ち満ちています。

校舎の内外には花々が咲き誇り、生徒は会話がはずみ、笑い声があちらこちらから聞こえてきます。そして、勉強に部活動にと活気にあふれ、活力がみなぎる学校として大きく息づいています。この活気と勢いが、明日の江中を築き上げていくものと期待がふくらみます。

さて、「夢」と「文武両道」を合（愛）言葉に「日本一」の学校を目指そうとスタートした出会い（愛）の「明るく楽しく」の学期も、みんなの頑張りで、大きな成果をあげ、68日が終わろうとしています。

この「明るく楽しく」の一学期を総括してみると、おおむね落ち着いた生活が送れ、気持ちのいい挨拶、学習に向かう姿等々、「自ら学び 豊かな心もち たくましく生きる生徒の育成」の学校教育目標に、着実にしっかりした一歩を記したと確信しています。

これもひとえに、学校の良き理解者であり、一番の応援者である保護者の皆様、そして常日頃から応援いただきます地域の皆様の御理解と御支援のおかげと感謝申しあげます。

また、何よりも256名の生徒一人一人の一步一步を賞賛（しょうさん）し、心から盛大な拍手を贈りたいと思います。

二学期に向け、さらなる皆さんの飛躍とその培った力を基盤にした学校パワーが、体育祭や文化祭等を通して「日本一」と言わしめる学期となることを願っています。

最後に、私が毎年、夏休みを前に紹介をしている大切にしている古い教え、「くちびるをかんでこらえる十章」と、先日の地区懇談会の資料でも紹介しました心身を鍛えるとされ、それを継続して行うことで、三つの「徳」を得ると言われる「鍛錬の三行」を紹介して、一学期の最終章とします。

◎「くちびるをかんでこらえる十章」

- 一、雨が降っても迎えに行くな
- 一、ねだってもすぐに買い与えるな
- 一、遠くても歩かせろ
- 一、仕事・手伝いはやらせよ
- 一、うそを許すな
- 一、悪いことと思えばよその子でもしかれ
- 一、ありがとうの言える子にせよ
- 一、分からなくてもすぐ教えるな
- 一、テレビを見ながら勉強をさせるな
- 一、友達と遊ばせよ

◎「鍛錬の三行」

- 一、気持ちの伝わる「あいさつ」
- 二、履き物を揃える
- 三、何か一つ責任を持って役割を果たす



迎える夏休みは、ご家庭の力の発揮の機会でもあります。その家庭ではぐくまれた力が、8月26日から始まる二学期で実を結ぶことを祈っています。

できましたら、この夏休みに「ゲームでは味わえない楽しさ」と家庭で意識された「家族ぐるみの体力づくり」を是非体験してほしいと願っています。（この度、配布しました「教育しまね」VOL. 49に、特集「1日1時間以上、からだを動かそう！」として、2ページに江津中が紹介されています）

ちなみに、私のこの夏の目標は、心身の健康を第一に考え、「知」と「徳」の鍛錬のため40冊以上（1日1冊以上）の書物に触れることと、「体」と「心」の鍛錬のために「1日1時間は、身体を動かす」ことです。平凡道を非凡に歩みます。